

Abstract

AROMA RESEARCH No.75(Vol.19 No.3)

インフルエンザ予防に用いる桂皮(シナモン)抽出物使用マスクの開発

並木 隆雄

<要旨> **試験の目的:**成人の桂皮抽出成分使用マスクの安全性。

対象:20歳以上の者かつ除外基準でないもの50名

試験方法:マスクは通勤・労働時間中約8時間・4週間使用。主要評価項はグレード3,4(比較的重症)の皮膚刺激性の発生頻度。

結果:男性17名、女性33名で53.5±15.0歳。皮膚刺激性が軽度なものも含め40%に認め、女性がほとんどで30歳台に多かった。比較的重症者は5名(10%、95%信頼区間:3.3-21.8、P値=0.50)に認めたが、すべて使用中止で回復。重篤な副反応なし。試験中38°C未満の微熱のインフルエンザ検査キット陽性1名のみであった。

結論:皮膚刺激性は女性に多く注意が必要。症例数が少ないため統計的には証明されないが、インフルエンザの予防の可能性が示唆された。今後は効果を証明するための試験が必要である。

<キーワード> シンナムアルデヒド、インフルエンザ、予防、吸入剤、皮膚刺激性